

# 令和7年度オホーツク中学校体育大会

## 第39回オホーツク中学校バドミントン大会 開催要項

1. 主催 オホーツク中学校体育連盟
2. 主管 遠軽ブロック中学校体育連盟・オホーツク中学校体育連盟バドミントン専門委員会・北見地区バドミントン協会・遠軽町バドミントン協会・遠軽町立安国中学校
3. 後援 北海道教育庁オホーツク教育局・遠軽町教育委員会
4. 会期 令和7年6月28日(土)・29日(日)
5. 会場 遠軽町総合体育館  
紋別郡遠軽町西町1丁目2番地 TEL0158-42-1903
6. 競技種目 (1) 団体戦 男子団体・女子団体  
(2) 個人戦 男子シングルス・男子ダブルス・女子シングルス・女子ダブルス

7 日 程	6月28日	6月29日
	開 場 8:00	開 場 8:00
	監督会議 9:00	競技開始 9:15
	開会式 9:20	競技終了 16:00
	競技開始 9:30	
	競技終了 17:00	

- ※前日の19時より会場準備を行う。
- ※1日目は団体戦と個人戦の一部を行う。
- ※閉会式は行わない。両日とも各競技終了後に表彰を行う。

8. 参加資格 \*詳細は北海道中学校体育大会参加資格に準じる。
  - (1) オホーツク中学校体育連盟に加盟する中学校・中等教育学校・義務教育学校に在籍する生徒で、当該学校長が出場を認めた生徒とする。
  - (2) オホーツク中学校体育大会における参加の特例
    - ◎地域クラブ活動に所属する中学生
      - ①「北海道中学校体育大会の参加を認める条件」「北海道中学校体育大会に参加した場合に守るべき条件」「北海道中学校体育大会における地域クラブ活動の参加特例バドミントン競技の細則」を満たしていること。
      - ②4月30日(水)までにオホーツク中学校体育連盟に登録申請を行い、承認されていること。

9. 参加チーム数・人数
  - (1) 団体戦…男女とも各学校・地域クラブ活動ごとに1チームのみ。
  - (2) 個人戦…男女とも各チームからシングルス5人以内、ダブルス5組以内とする。

10. 登録人数
  - (1) 団体戦は、監督1名、外部指導者1名、マネージャー複数名、選手5名以上7名以下とする。
  - (2) 個人戦は、監督1名、外部指導者1名、マネージャー複数名、シングルス5人以内、ダブルス5組以内とする。

11. 大会規則 別紙「令和7年度オホーツク中学校バドミントン大会規則」を参照のこと。

12. 監督会議 令和7年6月19日(木) 14時よりオンラインと対面のハイブリット方式で行う。

会場：遠軽町立安国中学校

※基本的にリモートで参加とし、希望する監督は対面での参加を可とする。

※オンラインの詳細は参加申し込みがあった学校・チームの代表者に連絡する。

### 13. 参加料

(1) 団体は1チームにつき13,000円。

(2) 個人はシングルス1人1,000円、ダブルスは1チームにつき2,000円とする。

### 14. 表彰

(1) 団体競技

① 入賞は3位までとする。

② 1位には優勝旗・トロフィーを授与する。(持ちまわり)

(2) 個人競技

① 入賞は3位までとする。

② 1位にはトロフィーを授与する。(持ちまわり)

### 15. 大会参加申込み

(1) 申込方法 ① 北見地区バドミントン協会ホームページから申込書(エクセルファイル)をダウンロードする。

② 申込書(エクセルファイル)に必要事項を入力して、申込先にメールで送信する。

③ 申込書に必要事項を入力して印刷し、学校長かチーム代表者の捺印した原本を郵送、もしくはPDFファイル(カラー)にして申し込み先にメールで送信する。

④ 大会参加料を現金書留で申込先に納める。

(2) 申込先 〒090-0068

北見市美山町南10丁目31番地1 北見市立北中学校内

吉野 陽喜 (大会事務局長)

電話 0157-23-7316 e-mail badokitatyugaku@gmail.com

(3) 締切期日 令和7年6月12日(木) 12時必着。

### 16. 北海道大会への参加

(1) 団体の男女共1位のチーム及び個人の男女共シングルス上位4人、ダブルス上位2チームは、オホーツクを代表して北海道大会への出場が認められる。

(2) 大会の実施や競技進行が困難な場合は別途、選出方法を定める。

※北海道大会へ参加する際、宿泊について、実行委員会において「指定宿泊」とされている場合は、斡旋された宿泊を必ず利用すること。

期日：令和7年7月30日(水)～8月1日(金)

開催地：小樽市

### 17. 個人情報の取り扱い

(1) 大会参加者の氏名・所属・学年はプログラム及びホームページへ掲載するために利用する。

(2) 選手の大会成績はホームページ及び記録集へ掲載するために利用する。

(3) 選手の生年月日は、年齢を確認するために利用する。

(4) 引率者または監督の連絡先は大会運営のため、緊急を要する場合に利用する。

(5) 大会参加者の氏名・所属の背面表示は、試合進行上選手確認のために利用する。

### 18. その他

(1) 今大会は入場者制限を行わない予定である。ただし、観客席と選手待機席は指定する。

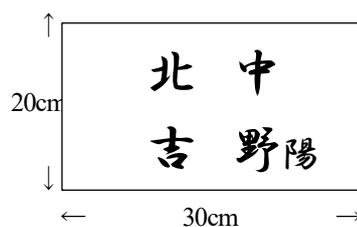
(2) 申込後の負傷・疾病による選手の変更は原則団体戦のみとし、大会当日の監督会議開始前に所定の用紙によって大会事務局に申し出て、監督会議の了承を得なければならない。また、選手およびマネージャーの追加は認めない。

(3) 競技時の服装は、(公財)日本バドミントン協会審査合格品とする。着衣表示については、(公財)日本バドミントン協会大会運営規程第24条による。但し、ウェアの表示については、一部、(公財)日本中学校体育連盟バドミントン競技部申し合わせ事項を加える。

## 令和7年度 オホーツク中学校体育大会規則（バドミントン）

1. 日 程 2日間
2. 競技種目 団体戦：男子団体戦・女子団体戦  
個人戦：男子シングルス・男子ダブルス・女子シングルス・女子ダブルス
3. 登録人数
  - (1) 監督は自校教職員【自チーム登録済指導者】1名とする。
  - (2) 外部指導者は1名とする。
  - (3) 外部指導者は、男女別各校1名以内（団体戦、個人戦同一人物）とする。なお、中体連事務局への登録がA登録の外部指導者は、団体戦、個人戦ともに複数校への登録を認めない。B登録の外部指導者は、個人戦において複数校の登録を認めるが、団体戦において複数校への登録は認めない。
  - (4) 当該学校において外部指導者が引率を行う場合は、監督としての登録を認める。その場合、当該学校は、外部指導者として別の外部指導者の登録を認める。
  - (5) マネージャーは自校教職員【自チーム登録済指導者】、外部指導者複数名または自校【自チーム】生徒1名とする。
  - (6) 監督は同一校から男女別に1名までとする。
  - (7) 団体戦の選手は5名以上7名以下とする。
  - (8) 個人戦の選手はシングルス5名以内、ダブルスは5チーム以内とする。
  - (9) チーム（団体戦及び個人戦ダブルス）は単一学校、またはオホーツク中学校体育大会における参加の特例で認められた単一チームの生徒で編成されたものとする。  
※外部指導者は当該学校の校長が認めた者で、北海道中学校体育連盟に登録された者とする。  
※コーチ席に入れるのは、団体戦個人戦ともに登録された監督、外部指導者、マネージャーのいずれか2名、並びに選手のみとする。  
※地域クラブ活動に登録された指導者は、一大会（地区予選会と北海道大会はそれぞれ一大会とする）において重複して他の地域クラブ活動や中学校の監督・マネージャー・外部指導者として登録することはできない。ただし、一大会（地区予選会と北海道大会はそれぞれ一大会とする）ごとに、登録済みの他の地域クラブ活動や学校の監督・外部指導者としての登録は可能である。
  - (10) 令和7年度のオホーツク中学校体育連盟が主催する他の種目の夏季大会に申し込み登録をしたものは、今大会に登録することができない。
4. 地域クラブ活動の参加特例における参加要件
  - (1) 地域クラブ活動は、オホーツク中体連が定める登録および参加条件を満たしていること。
  - (2) 地域クラブ活動は、オホーツク中体連および北見地区バドミントン協会がある市区町村において、地域の中学生の受け皿として継続的に活動を行なっていること。
  - (3) オホーツク中体連を通して、オホーツク中体連並びに北海道中体連に登録をすること。また、北見地区バドミントン協会へ登録をすること。この両方を満たしていることを条件とする。
  - (4) 大会に引率する地域クラブ活動の指導者は、日本スポーツ協会公認スポーツ指導者（バドミントン）資格、日本バドミントン協会公認審判員資格（3級以上）を取得していること。引率をする指導者が1人で両方の資格を取得、あるいは、2人で1つずつの資格を取得し、引率をするのであれば、どちらの場合でもよい。令和7年度末までに取得すること。  
※上記の指導者資格はコーチングアシスタント、スポーツリーダー、スタートコーチ、他競技の指導者資格、スポーツ少年団スタートコーチも含む。
  - (5) 協会登録については、北見地区バドミントン協会の規則に則って行うこととする。
  - (6) 地域クラブ活動およびそこに所属する選手は、登録した地区中体連と地区バドミントン協会が一致する地区で行われる予選への出場を認める。出場する地区は、地域クラブ活動が登録した地区中体連とする。登録した地区中体連以外の地区からの参加は認めない。
  - (7) 地域クラブ活動は、大会申込書に所属する選手の在籍校を明記すること。
  - (8) 団体戦への参加については、団体戦登録選手のうち同一校の選手が4名以上いる場合、同一地区中体連において、その学校が団体戦に出場する場合は、その地域クラブ活動の団体戦出場を認めない。ただし、地域クラブ活動が、当該校の顧問及び学校長の署名がされた同一活動母体ではないことの証明を、大会申込時に指定した様式にて書面で提出した場合は、出場を認める。

5. 大会規則
- (1) 令和7年度（公財）日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規則並びに公認審判員規程による。
  - (2) 使用器具及びシャトルは令和7年度（公財）日本バドミントン協会検定合格器具及び検定合格球（水鳥球）とする。YONEX エアロセンサ700③、ニューオフィシャル③
  - (3) 団体戦、個人戦ともにトーナメント方式で行い、個人戦のみ準決勝敗退者同士の順位決定戦を行う。ただし全種目、準決勝敗退者（チーム）は双方とも3位とする。
  - (4) 団体戦においては、参加チームが少ない場合は総当たり方式とする場合がある。
  - (5) 団体戦はダブルス2マッチ、シングルス1マッチの学校対抗戦とし、ダブルス・シングルス・ダブルスの順で行う。（同一選手が1つの対抗戦で出場できるのは1マッチのみ）
  - (6) 団体戦はどちらかのチームが初回戦の場合は3マッチ行い、両チームとも2回戦以降は勝敗が決まった段階で試合を終了する。
  - (7) 団体戦において、運営上2～3コートで同時に進行する場合もある。
  - (8) 個人戦は、同一選手がシングルスとダブルスを兼ねて登録することはできない。
6. 組み合わせ
- (1) 専門委員会ですら前に抽選を行い、監督会議で提案する。
  - (2) 抽選の際、大会の実績を考慮する。
  - (3) 個人戦の抽選時は、同チーム同士が当たりづらくなるよう配慮する。ただし、実績を考慮される選手においては、その限りではない場合がある。
7. 表彰
8. その他
- 団体戦、個人戦ともに3位までを表彰する。
- (1) 競技中の服装は、（公財）日本バドミントン協会検定合格品を着用すること。
  - (2) 背中中央には、学校【チーム】名と名前の姓のみを二段に分けて高さ6～10cmの大きさの日本文字（楷書）でゼッケン表示をすること。ゼッケンのサイズは縦20cm、横30cmとする。ただし、同一チームの同一性に同姓の選手が複数いる場合は名前の一部を小さく入れること。



## 令和7年度 オホーツク中学校体育大会 バドミントン大会における熱中症防止対策 及び競技進行が困難な場合における北海道大会の代表選手・チームの選出方法について

### 【基本的な考え方】

・「北海道中学校体育大会における熱中症防止対策」及び「オホーツク中学校体育大会における熱中症防止対策」に準じた対応とする。

### 【バドミントン大会に関わる熱中症防止対策】

- ・選手の生命の安全を最優先としながら、競技続行ができる環境づくりに最大限努力する。
  - ① 試合の中断、換気、観戦者の入れ替え等を行なってWBGT の数値の改善を図る。
  - ② 試合に支障がない範囲で試合中も空調の作動や換気を行う。
  - ③ 試合をしている選手以外の会場内にいる人数制限を行う。
  - ④ 全ての観戦者に退出してもらい、無観客状態で試合を再開する。
  - ⑤ その他の対応については、その時の状況に応じて大会実行委員会と協議しながら対応を行う。
- ・試合の途中で中断あるいは中止が判断され、その後再開する場合は、大会運営規程第27条に則って行う。
- ・残りの日程で通常のスコアリングシステムで競技の消化が困難と判断される場合は、残りの試合を「競技規則付録3 代替スコアリングシステム」で実施する場合がある。
- ・会期中に全日程を終了することができなかった場合には、下記の選出方法で、北海道中学校体育大会のオホーツク代表選手及びチームを選定する。

### 【大会中止、または競技が進行できない場合の代表選手・チームの選出方法】

- ・大会期間以外の別日程での決定戦等は行わない。
- ・競技日程が残っている場合は、翌日以降に順延し、競技を続ける。競技を続けられるかどうかの判断は、オホーツク中体連事務局、オホーツク中体連バドミントン専門委員会、レフェリーが協議をして判断する。
- ・競技進行ができないと判断がされた時点で成立している試合結果は生かすこととする。その時点で北海道大会の出場権を得ている場合は、その出場権は成立しているものとする。
- ・出場権が規定数を満たしていない場合は、以下の基準に基づいて選出する。選出はオホーツク中体連事務局、大会実行委員会、オホーツク中体連バドミントン専門委員会、レフェリーが協議をして判断する。

### 【団体】

競技中止の判断がなされた時点で勝ち残っている学校（クラブ）の中から、以下の基準で1校（チーム）を選出する。

今年度の北見地区バドミントン選手権大会（中学校の部）の成績をポイント化し、ポイントの合計が最上位学校（クラブ）。1位：15P 2位：12P 3位：9P 4位：6P 5位：1P ※5位は参加数が33以上の場合のみ加算

- ・シングルス・ダブルス含めて、各学校の上位5人のポイントを採用する。
- ・最上位のポイントの合計が並んだ場合で、シングルス・ダブルスの同順位の選手がいる場合はシングルスがいる方を上位とする。同順位がいなければ、監督による抽選で決定する。
- ・その時点で勝ち残っている学校（クラブ）のポイントが全てなかった場合、その学校（クラブ）から、監督による抽選で決定する。

### 【個人】

競技中止の判断がなされた時点で勝ち残っている選手の中から、以下の順に最大シングルス4名、ダブルス2組を選出する。なお、①～③においては、種目替え、ペア替えがある場合は、対象外とする。

- ①今年度の北見地区バドミントン選手権大会（中学校の部）の1、2位。
- ②今年度の北見地区バドミントン選手権大会（中学校の部）の3、4位。
- ③今年度の北見地区バドミントン選手権大会（中学校の部）のベスト8。複数の候補者の中から選出しなければいけない場合は、前年度の北見地区ジュニアバドミントン新人の部（中学校の部）の結果および直近の大会での直接対決の結果などを総合的に判断して選出する。ただし、明確な差が認められない場合は、候補者全員による抽選で決定する。
- ④その時点で勝ち残っている選手の中から、選手による抽選で決定する。
- ⑤大会が中止される等で選手が集まらない場合は、専門委員会による公開抽選を行う。